

# 第9回 低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉 申込用紙

必要事項をご記入またはチェック☑のうえ、メール又はファックスにてお申込みください。  
 個人情報 は 目的以外に使用しません。定員に達し、ご参加いただけない場合のみご連絡します。

**FAX:048-749-1218 E-mail:goto@kannet-sai.org**

お名前		ご所属	
TEL		FAX	
E-mail			

↓ 参加又は希望する箇所にチェックをお願いします。

全体会 (10:00~12:00) ※定員200名	
<input type="checkbox"/>	・エコライフDAY埼玉 表彰式 ・基調講演「SDGs達成へ向けた芝浦工業大学の挑戦」 村上 雅人氏 (芝浦工業大学学長)

分科会の参加 (13:15~16:30) ……いずれかにチェック ※各定員50名程度			
<input type="checkbox"/>	明日から未来までつなげる家庭の省エネ術	<input type="checkbox"/>	知ろう、語ろう、世代を超えて
<input type="checkbox"/>	川の保全と生態系	<input type="checkbox"/>	脱炭素社会の実現に向けて
<input type="checkbox"/>	持続可能な街をデザインするには	<input type="checkbox"/>	マイクロプラスチックごみ問題

交流会 (17:15~18:30)	
<input type="checkbox"/>	交流会に参加します ※会費 (3,000円程度) はご負担ください。

※準備の都合上、直前でのキャンセルは、キャンセル料をいただきます。

報告書について (希望される方には、後日報告書を送付します)	
<input type="checkbox"/>	報告書を希望します ※報告書代300円/冊 (送料として) を当日受付で徴収します。
〒	*報告書をご希望の方は、送付先住所をご記入ください。

問合せ  
連絡先

**第9回低炭素まちづくりフォーラムin埼玉実行委員会事務局**  
 (埼玉県地球温暖化防止活動推進センター/特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉)  
 〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階  
**TEL:048-749-1217 FAX:048-749-1218 E-mail:goto@kannet-sai.org**  
 URL : <http://www.kannet-sai.org/>



当フォーラムは、低炭素社会の実現に向けて、ワークショップやパネルディスカッションをとおり、  
 現代のライフスタイルを見直すとともに、問題や課題を発見し、今後の取組へと繋げます。  
 さらに埼玉県地球温暖化防止活動推進員及び県内の環境団体・企業・学生との情報交換、  
 交流、研修及び政策提言の場とします。

**会場** 芝浦工業大学 大宮キャンパス 齋藤記念館、2号館 **定員** 300名 **要申込** **先着順**  
 ※報告書をご希望の方は300円/冊(送料として)

〈主催〉 第9回低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉実行委員会  
 〈共催〉 芝浦工業大学、埼玉県地球温暖化防止活動推進センター、パルクラブ21埼玉  
 〈後援〉 埼玉県



当フォーラムは、環境省「平成30年度地域における地球温暖化防止活動促進事業」の一環で行います。  
 また、公益財団法人サイサン環境保全基金の助成を受けています。

# プログラム

10:00~10:40 **全体会** ●挨拶 ●エコライフ DAY 埼玉 表彰式

10:40~12:00 **基調講演**

## 「SDGs達成へ向けた芝浦工業大学の挑戦」

村上 雅人氏 (芝浦工業大学 学長)



芝浦工業大学 学長。工学博士。専門は材料科学、超電導。1979年東京大学工学部金属材料学科卒業、1984年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、新日本製鉄株式会社入社、第一技術研究所で、超伝導と形状記憶合金の研究に携わる。その後、超電導工学研究所の研究室長、部長。名古屋大学、岩手大学等の客員教授を歴任。2003年芝浦工業大学工学部材料工学科教授、2008年芝浦工業大学副学長、2012年芝浦工業大学学長に就任。世界ではじめて超伝導による人間浮上に成功、日経BP賞、1991 World Congress Superconductivity Award of Excellenceなどを受賞、また、世界最強のハルク超伝導磁石の開発にも成功し、Nature誌に論文が掲載されている。超伝導分野では、論文の引用件数が世界のトップテンに入ったことがある。

論点提起:中口 毅博氏(芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 教授)

齋藤記念館

12:00~13:15 **昼食** (昼食は、食堂をご利用いただけます[会場案内図参照])

## パネル展示 12:00~16:00

環境団体や企業、大学等による環境の取組等に関するパネル展示や、学生によるエコ体験企画を行います。

2号館2302教室

13:00~16:30 **分科会**

- 明日から未来までつなげる家庭の省エネ術
- 川 の 保 全 と 生 態 系
- 持続可能な社会をデザインする
- 知ろう、語ろう、世代を超えて
- 脱炭素社会の実現に向けて
- マイクロプラスチックごみ問題

2号館

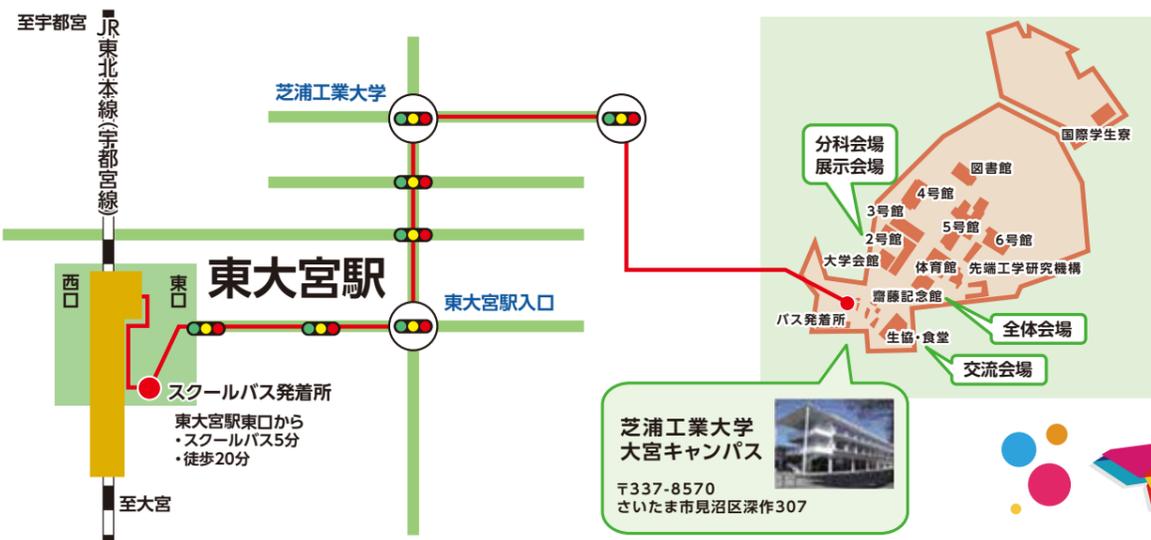
17:15~18:30 **交流会**

参加者相互の交流の場です。お気軽にご参加ください。(会費3,000円程度)

食堂

# 会場案内図

※「東大宮駅~芝浦工業大学」間は、無料でスクールバスをご利用いただけます。  
※お車での入校はご遠慮ください。公共交通機関をご利用ください。



# 分科会紹介

2206教室

## 明日から未来までつなげる 家庭の省エネ術

~ワタシが思う2050年の豊かな家庭の暮らしとは?~

低炭素な未来をつくる暮らしはどんなもの?ガマンや苦痛ばかりなの?本当に自分で考えられる?省エネに暮らすことの大切さと、継続するために必要なワクワク感を一つにする。そんなチャレンジを多様なパネラーと参加者が一緒になって、SNSなどを使いながら和気あいあいとディスカッションします。2050年自分がどんな暮らしをしているのか?参加者同士でアイデアをシェアし、ガマンではなく豊かで楽しい暮らしを創り出しましょう。



2305教室

## 川 の 保 全 と 生 態 系

~里山生態系の保全と生物多様性を考える~

私たちの暮らしと生態系のバランスを考える中で、研究機関や自然環境保全等で様々な取組みが行なわれています。その結果、最近では河川や自然の回復がみられ、県内にもコウノトリが飛来するなど、私たちの身近に取組の成果が見られるようになりました。このように自然環境と人間生活との関係性をいま一度整理し、新たに問い直してみたいと思います。



2307教室

## 持続可能な街をデザインするには

~環境教育と環境政策でつくる都市の未来~

排気ガス、交通渋滞のない快適で暮らしやすい街に住みたいと思いませんか?さいたま市では、そのために「スマートシティ構想」を始めとする様々な環境政策が進められています。「環境政策」は都市を構成する市民の理解と支持があってこそスムーズに進みます。政策の背景となる「環境教育」のあり方について、身近なところから一緒に考え、解決のステージづくりを始めましょう。



講 講演 パネルディスカッション 事例発表  
意 会場意見交換 フ ワークショップ

2207・2208教室

## 知ろう、語ろう、世代を超えて

~大学生・社会人の環境活動の発表を通じた交流~

大学生が実践した環境や街づくりに関するグループ活動の発表や企業、NPOなど社会人の環境活動報告を聞き、質疑応答を行います。そこから見えてくる課題の解決方法などに関して、世代を超えた率直な意見交換をおし、パートナーシップの形成を目指します。特に、大学生、社会人の皆さんの積極的な参加をお待ちしています。



2306教室

## 脱炭素社会の実現に向けて

~埼玉の気候変化と今後の予測~

世界中で「極端な気象現象」や「異常気象」が多発しています。その発生頻度は増加傾向にあり、この要因の一つが温暖化であるといわれています。当分科会では、2050年に向けた脱炭素で持続可能な社会を目指すために、今私たちは何をすべきか、一部は講演形式で温暖化の情報を共有し、二部でグループに分かれてワークショップ形式で参加者と一緒に考え、議論します。



2308教室

## マイクロプラスチックごみ問題

~脱プラ・脱使い捨てを県民みんなで考えよう~

細かく砕かれたプラスチックごみが世界の海を汚染しており、その海洋ごみの約70%はプラスチックのごみ(プラごみ)です。私たち消費者は便利さに慣れ過ぎ、地球環境汚染の原因になっている事を忘れがちです。世界全体では年800万トンのプラごみが海に流出、多くは河川から海へ流れています。特に深刻な問題となりつつあるマイクロプラスチックごみ問題を河川上流部の埼玉県から皆で考えて見ましょう。

